

# 駒杵勤治技師年譜

西暦	元号	年齢	主な出来事		参考事項
1000頃					駒杵一族(平姓岩城家末葉), 常陸国鹿島郡駒木根村を起源。
1602	慶長 7				佐竹氏に代わって戸沢氏が常州多珂郡等を支配。駒木根氏, 佐竹氏家中から戸沢氏家中(砲術指南役)となる。
1622	元和 8				9 駒木根氏, 戸沢氏の転封に伴い常州多珂から羽前新庄に移住。
1810	文化 7				12 家老駒杵主膳(俊蔵)(500石), 排斥事件により退役。この頃, 駒木根から駒杵に改姓。
1876 ~79	明治 9 ~12				下見板系擬洋風建築(M9朝暉学校(鶴岡),M10県庁舎(山形),M11師範学校(山形),M12済生館(山形))
1877	明治10	0歳	2. 7	旧山形藩士山形県士族の父駒杵三郎と母チヨの4男2女の末子として, 羽前国最上郡新庄町小田島に生まれる。	2 西南戦争, 勃発(~9月)。
1886	明治19	9歳			辰野金吾, 帝国大学工科大学の教授に就任。
1888	明治21	11歳			12 帝国大学工科大学本館(辰野金吾設計)の竣工。※土浦中学校旧本館のモデル。渋沢栄一ら日本煉瓦製造株式会社を創立(深谷市上敷免)
1889	明治22	12歳		山形県尋常中学校(現山形東高校)に入学。	2 大日本帝国憲法, 発布。
1894	明治27	17歳			7 日清戦争, 勃発(~1895.3)。
1896	明治29	19歳	7.18 9	山形県尋常中学校を卒業。 第二高等学校大学予科第二部(現東北大学)に入学。	常磐線の全線開通。
1898	明治31	21歳			9 東京帝国大学工科大学の造家学科を建築学科に改称。
1899	明治32	22歳	7. 9 9	第二高等学校大学予科第二部を卒業。 東京帝国大学工科大学建築学科に入学。	
1900	明治33	23歳			9 河野忠三(長州出身), 茨城県知事に着任。
1902	明治35	25歳	12.18	東京帝国大学工科大学建築学科(辰野金吾校長)を繰り上げ卒業。卒業論文は「Description for a Mansion」(全文英文)。	1 日英同盟協約, 締結。
			12.28	茨城県に営繕工師として奉職。年棒800円給与。	12 辰野金吾, 工科大学校長を辞職。
1903	明治36	26歳			辰野金吾, 設計事務所を開設(日本銀行本店本館, 東京駅丸の駅舎設計)。
					6 河野忠三, 茨城県知事を離任し奈良県知事に着任。後任に寺原長輝(薩摩出身)が就任。
					7 大熊喜邦(国会議事堂), 佐藤功一(早稲田大学大隈記念講堂), 佐野利器(日本橋丸善書店)ら同期入学生8名が卒業。
			10.14	茨城県技師に昇格。叙高等官7等(内閣)。年棒30円下賜(内務省)。	
			11	旧県立図書館(設計・監理), 竣工。	
			12.27	叙位七位(宮内庁)。	
1904	明治37	27歳	1.15	吉村みはる(18歳)と結婚。住居は, 水戸市上市烏見。	2 日露戦争, 勃発(~1905.9)。
			4.14	旧県立商業学校本館(設計・監理,ロココ様式), 竣工。	
			5	旧麻生警察署(設計・監理), 竣工。	
			5. 1	年棒900円給与(営繕工師)。	
			7. 1	旧土浦中学校本館(設計・監理,ゴシック様式)上棟式, 挙行。	
			12. 1	旧太田中学校講堂(設計・監理,バロック様式), 竣工。	12 旅順203高地, 占領。
			12. 4	旧水海道中学校講堂(設計・監理,バロック様式), 竣工。	
			12. 7	旧龍ヶ崎中学校講堂(設計・監理,バロック様式), 竣工。	
			12. 7	旧土浦中学校本館, 竣工。	
1905	明治38	28歳	3.31	御用済に付き営繕技師を解任(事務都合)。	
			4. 4	満2年以上在職に付き金75円給与。	5 日本海戦, 勝利。
			5	内務省勤務(内務技師)。	
			6	旧下館警察署(設計), 竣工。	9 ポーツマス条約, 締結。
1906	明治39	29歳	2	伊勢神宮式年造営を担当(内務省, 造神宮技師, ~1907)。	
			9. 7	「和洋住宅建築学(上巻)」(駒杵謹治, 須原屋書店)発刊。	
1907	明治40	30歳	4.15	「和洋住宅建築学(下巻)」(駒杵謹治, 須原屋書店)発刊。	
1908	明治41	31歳		旧佐世保中学校校舎(設計,佐世保鎮守府建築科技師)竣工。	
1910	明治43	33歳		旧佐世保市役所庁舎(設計・監理), 竣工。	
1911	明治44	34歳	6.15	「折衷洋風建築設計図集」(小野武雄著, 駒杵謹治関)発刊。	10 辛亥革命, 勃発(~1912)。
				福岡市にて設計事務所開設。	
1914	大正 3	37歳			7 第一次世界大戦, 勃発(~1918)。
1915	大正 4	38歳		旧帝国ホテル本館, 設計協力?	1 対華21カ条要求。
				小田原市にて居住(病氣療養?)	
1918	大正 7	41歳	3.31	名前の「勤治」を「勤治」に戸籍訂正。	11 第一次世界大戦, 終了。
1919	大正 8	42歳	2.27	午後4時30分, 結核により福岡市地行東町317番地にて永眠。墓所は桂嶽寺(新庄市十日町)。	3.25 辰野金吾, スペイン風邪により赤坂新坂町にて永眠(満64歳)。墓所は常圓寺(西新宿)。
1964	昭和39		5	妻みはる, 山形市にて永眠(満78歳)。	10 東京オリンピック, 開催。
2019	平成31		2.27	駒杵謹治, 没後100周年。	3.25 辰野金吾, 没後100周年。

## 参考文献

- 常陽藝文2013年9月号「藝文風土記 戸沢氏松岡時代を偲ぶ」 2013年 常陽藝文センター
- 新庄市史編纂資料集別冊「羽州新庄藩の家臣団」 1996年 新庄市教育委員会
- 新庄市史 第2巻「八柳騒動」 1992年 新庄市
- 郷土資料叢書 第10輯(駒杵騒動に係わる史料) 1977年 山形県新庄図書館
- 郷土資料叢書 第15輯(駒杵家系図) 1983年 山形県新庄図書館
- 茨城県人事台帳(駒杵勤治) 1905年 茨城県
- 創立百周年記念誌「進修百年」 1997年 茨城県立土浦第一高等学校創立百周年記念誌編纂委員会
- 月刊 Acanthus 第4号, 第16号, 第21号, 第35号, 第36号, 第37号, 第38号 進修同窓会旧本館活用委員会
- 住宅建築 1994年7月号 茨城に花開いた木造洋風建築・駒杵勤治 一色史彦 建築資料研究社
- 西洋ロマンとモダン建築—水戸の近代建築から— 2004年 水戸市立博物館
- 国指定重要文化財 旧土浦中学校本館 パンフレット 茨城県立土浦第一高等学校
- 茨城県の近代化遺産 2007年 茨城県教育委員会
- 茨城の文化財 第15集 1977年 茨城県教育委員会
- いばらきの文化財 1985年 茨城新聞社
- 最上地域史第10号「最上人物事典」 1987年 最上地域史研究会編 最上地域史研究会
- 旧茨城県立土浦中学校本館「気韻生動」 1994年 奥村好太郎・大久保滋
- 常陽藝文1983年12月特集号「特集 茨城の洋風建築」 1983年 常陽藝文センター
- 常陽藝文2001年 1月号 「旧制土浦中学校」 2001年 常陽藝文センター
- 日本の西洋館—風土に生きる明治の洋館— 2001年 常陽新聞社
- 明治の学舎 1997年 小学館
- 茨城の建築探訪 2006年 崙書房出版
- 日本の近代建築(上) 1993年 藤森照信 岩波書店
- 官報(第6,568號, 第6,777號, 第6,885號, 第7,078號) 1905年～1907年 印刷局
- 「和洋住宅建築学(上巻・下巻)」 1906年・1907年 駒杵謹治 須原屋書店
- 「折衷洋風建築設計図集」 1911年 ガーデナー序文・小野武雄著・駒杵謹治閱, 博文館
- 広報させぼ2013年2月号 特集「絵葉書に見る近代化遺産」 2013年 佐世保市
- 広報させぼ2017年2月号 特集「佐世保の近代建築と技術者列伝」 2017年 佐世保市